

大規模イベントでのバザーを体験

理事長 矢野幸一

5月9日、10日にかけて、ポートアイランド国際展示場で「第38回日本臨床栄養代謝学会学術集会」が開催された。このイベントにボレロをはじめ、9つの事業所が景品の納品やバザーで参加した。その取りまとめを私が担当した。その貴重な体験について、報告したい。

今年の1月29日、恒例のアライドコーヒーのガレッジセールが行われていた。その場に小谷先生（ボレロの利用者さんの保護者）が来られて、5月に行われる学会でのことについてお話があった。

「5月9日、10日にポートアイランドの国際展示場で開催する学会を私が担当することになった。そこで、スタンプリリーの景品の受注や当日のバザーに参加してほしい。ボレロから他の作業所にも参加を呼び掛けてもらいたい。例年だと1万人は参加する催しだが、コロナ禍ではオンライン配信を行うため、今年の現地参加は5千人くらいになりそうだ」。有難いお話だ。

すぐにふくぺこなどで一緒に取り組んでいる事業所に声掛けした結果、9つの事業所が参加してくれることになった。ここで、小谷先生を紹介したい。

小谷穰治（こたにじょうじ）

神戸大学大学院医学研究科外科系講座

災害・救急医学分野教授

神戸大学医学部附属病院 救命
救急センターセンター長

運営事務局の方（日本コンベンションサービズ株式会社 神戸支社）にも大変お世話になった。小谷先生のご提案によって、

スタンプリリーの景品として五百円分のお菓子千個を買い上げ、当日のバザーブース8つを無料提供、昼食用のお弁当も利用者、支援員分を提供していただいた。また、各事業所にお土産として、当日学会参加者に配布した資料を入れるための布製バック11個とタコせんべいをいただいた。感謝に堪えない。

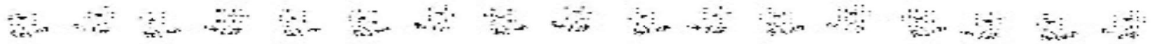
この学会で参加事業所が得た収益は、スタンプリリー景品用のお菓子買い上げ50万円、バザーの売上げ36万円、合計86万円という結果だった。収穫は、こうした金銭的なものだけではなかった。参加した事業所同士での交流があったし、色んな事で協力し合える関係ができたことが最も大きな成果だったと思う。

また、小谷先生や事務局を担った方からも「また、同じような機会があった場合にはお声掛けします」とのお話をいただいている。またこうした機会を得られることに期待したい。

参加事業所や小谷先生の感想を紹介したい。

「学会での販売は初めての経験で、どうなることかと心配もありましたが、2日間、楽しく参加させていただき





ボレロのバザーブース
(小谷先生撮影)

国際展示場2号館

コンベンションセンター前ロビー



ました。このような機会をいただき、本当にありがとうございました。とても元気で楽しい利用者さん(ボレロ)がたですね。そのおかげで、私たちも退屈することなく、楽しい時間を過ごさせていただきました。また、今回の学会長小谷さまにも、どうぞよろしくお伝えください」

(友が丘作業所 神田由紀子)

「以前、テレビで神大の救命救急医療の小谷先生の活躍と人柄に感銘を受けたのを思い出し、あの小谷先生かと驚きました。このような全国から医療関係の方が来られるイベントに参加させていただき、ありがとうございます」(バオバブ 林 薫)

「この度は、大変有意義で素晴らしいイベントにお誘いいただきありがとうございます。お陰様で、売上は2日間で10万円ほどありました。職員一同またメンバーも感謝しております」(七つの海 横崎幸子)

「今回の学会バザーのために色々準備していただきありがとうございます。いい報告が聞けてよかったです。」

「たくさんのお菓子の準備大変だったと思いますが、学会さんには喜んでもらえたと思います。出店してくださった作業所の皆様にもよろしくお伝えください。」

学会のコンベンション会社の人には、また学会を神戸でやるときには学会長にこの支援団体のバザーを紹介していただくようお願いしました。また、私が何か会を主催するときにもお声がけさせていただきます」

(小谷穰治)

